



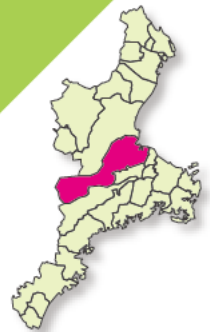
もと  
おり  
のり  
なが  
**本居宣長**

す

古事記伝

鈴の音聞いて

まつさか し  
松阪市



もと おり のり なが  
**本居宣長**

本居宣長は、1730(享保15)年に松阪本町の商人、小津定利の子どもとして生まれました。商人にはならず、医者をしなから国学の勉強をし、「古事記伝」全44巻を完成させました。また宣長は、鈴と山桜をこよなく愛しました。鈴の音を楽しむことで、心をいやしたといわれています。また、山室山にある奥墓には山桜が植えられています。【教材「三重の文化」P38】